

平成19年度

『超緊縮型集中予算』

市民総参加による

強さとやさしさを兼ね備えたまちづくり

平成19年度は、「岡谷市行財政改革プラン」の2年目として、引き続き、「目に見える実効ある改革」が求められるとともに、平成18年7月豪雨災害の復旧、復興対策を最優先に、災害に強いまちづくりをこれまで以上に推進していくことが、重要課題として位置づけられる年です。

限られた財源を有効に活用し、重点施策に集中して財源を配分する「超緊縮型集中予算」とし、厳しい財政状況にあっても、岡谷市ならではの特色あるまちづくりを推進するため、第3次岡谷市総合計画後期基本計画の6つの都市づくりの柱を基調として予算編成を行いました。

当初予算額は、一般会計が185億1,800万円で、前年度に比べ、5億500万円、2.7%の減、また、一般会計に特別会計（湊財産区を含む）および病院と上下水道の企業会計を合わせた総額では、441億7,876万9千円、前年度比0.4%の減となりました。

重点施策は、強さとやさしさを兼ね備えたまちづくりを市民総参加によりこれまで以上に推進することを基本に、

- ・平成18年7月豪雨災害の復旧、復興対策の実施
- ・安全安心に係る市民生活に密着した施策の推進
- ・子育て支援の充実

一般会計

185億1,800万円

前年度比2.7%減

総額

441億7,876万9千円



平成19年度予算一覧

会計名	予算額	前年度比較	増減率
一般会計	185億1,800万円	△5億 500万円	△2.7%
特別会計	国民健康保険事業	4億1,300万円	8.5%
	地域開発事業	△1億8,590万円	△24.4%
	分収造林事業	△340万円	△15.0%
	霊園事業	△20万円	△1.4%
	老人保健事業	1億8,000万円	3.3%
	温泉事業	△240万円	△10.3%
	訪問看護事業	0万円	0%
	計	116億 160万円	4億 110万円
湊財産区一般会計	290万円	20万円	7.4%
企業会計	水道事業	2億1,196.8万円	△14.0%
	下水道事業	△1億 798.5万円	△3.7%
	病院事業	2億2,525.3万円	2.3%
	計	△9,470.0万円	△0.7%
合計	441億7876.9万円	△1億9,840.0万円	△0.4%

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額。
前年度比較の△印は、減額を意味します。



・工業振興施策のさらなる推進
・市民総参加のまちづくりの推進
の5項目を柱として、創意と工夫、努力により、各種事業に取り組んでいきます。

このほか、予算編成にあたっては、「最小の経費で、最大の効果を」をあげるべく、身近なところから徹底した見直しを行い、一般経常経費を削減するとともに、後年度の財政運営や事業展開を考慮するなかで編成しました。

具体的な経費節減対策としては、義務的経費を除いた経常経費は、平成18年度当初予算額を10%削減した範囲内とするとともに、補助金・負担金のゼロベースからの見直しを行い、反映しました。

また、職員の時間外勤務手当については、職員の流動的配置、代休制度およびシフト勤務の活用等により、前年度比3割を削減するほか、行政評価の積極的な活用による事務事業の見直しなどに取り組みます。

市民のみなさんにも、我慢や負担をお願いする部分もありますが、行財政基盤を強化し、将来にわたり夢を描くことができるまちとして、次代へ継承していくために、特段のご理解ご協力をお願いします。

これからも、市民のみなさんのご意見やご要望が施策に反映される、市民のみなさんとともに歩む市政を実現し、市民一人ひとりが安全で安心して快適に住むことができる、強さと優しさを兼ね備えたまちづくりを推進していきます。

予算の大綱

歳入

歳入の主要な一般財源である市税は、前年度より8億5400万円の増と見込みました。

地方交付税は、国から交付されるお金で、使い道が制限されていません。額はその自治体の財政力などにより決められ、前年度より4億5000万円の減です。

諸収入は、ほかの収入科目に含まれない収入をまとめたもので、前年度より4億1500万9千円の減です。

市債は、建設事業など多額の財源を必要とする場合に一定のルールで借り入れるものと、地方交付税の振替財源として、国の制度に基づいて借り入れるものがあり、前年度より2億5280万円の減。借り入れの返済は、歳出の公債費で計画的に償還が行われます。

国庫支出金は、特定の事業に対して、国から補助されるお金で、前年度より1億7453万8千円の増です。

地方消費税交付金は、地方消費税の2分の1が県から市に交付されるお金で、前年度より5000万円の減です。

地方譲与税は、国税として徴収した税金を、地方公共団体に財源

として譲与するもので、4億1800万円の減です。

繰入金は、前年度より2700万円の増です。

使用料および手数料は、公共施設などの使用料や各種行政サービスに関わる手数料等で、前年度より1150万2千円の増です。

歳出

民生費は、地域介護・福祉空間整備事業補助金、後期高齢者医療保険事業、児童手当の乳幼児加算の増等のため前年比43%の増です。

公債費は、償還元金の増のため前年比3.5%の増です。

商工費は、中小企業金融対策費の減等のため前年比9%の減です。

総務費は、防災ラジオの購入費、統一地方選挙執行費の増等のため前年比15.2%の増です。

土木費は、道水路整備事業、東町線整備事業の減等のため前年比24.7%の減です。

教育費は、小学校整備事業費、遺跡発掘事業費の減等のため前年比21%の減です。

衛生費は、病院事業会計負担金の減等のため前年比6%の減です。

具体的な事業を、6・7ページに重点施策別にご紹介します。

予算編成6つの基調

(第3次岡谷市総合計画の6つの柱)

平成19年度 予算重点施策 5つの柱

中核的機能を担う
拠点都市をめざして
(都市基盤整備の
推進)

豊かな心とかおり
高い文化を育む生涯
学習都市をめざして
(教育文化の振興)

快適で安全な定住
都市をめざして
(生活環境整備
の推進)

時代変化に柔軟に
対応できる産業都
市をめざして
(産業の振興)

健康で生きがいをも
って暮らせる福祉都
市をめざして
(健康福祉の推進)

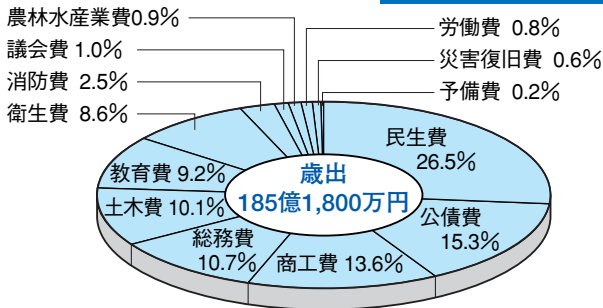
市民と行政の連携によ
る計画の推進(財源の
重点的、効率的配分、
一般行政経費の抑制、
健全財政の保持)

- ①平成18年7月豪雨災
害の復旧、復興対策
の実施
- ②安全安心に係る市民
生活に密着した施策
の推進
- ③子育て支援の推進
- ④工業振興施策のさら
なる推進
- ⑤市民総参加のまちづ
くりの推進

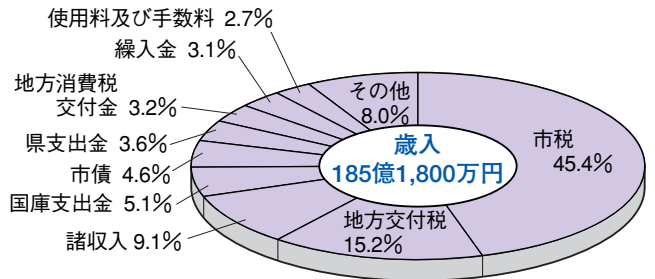


一般会計

歳出



歳入



区分	予算額	構成比	前年度比
民生費	49億2,800.0万円	26.5%	4.3%
公債費	28億2,461.4万円	15.3%	3.5%
商工費	25億1,352.3万円	13.6%	△9.6%
総務費	19億8,066.3万円	10.7%	15.2%
土木費	18億7,289.5万円	10.1%	△24.7%
教育費	17億 826.1万円	9.2%	△2.1%
衛生費	15億8,614.0万円	8.6%	△6.0%
消防費	4億6,449.5万円	2.5%	△1.2%
議会費	1億9,058.3万円	1.0%	△10.8%
農林水産業費	1億7,113.4万円	0.9%	△8.8%
労働費	1億4,480.2万円	0.8%	△9.9%
災害復旧費	1億 289.0万円	0.6%	皆増
予備費	3,000.0万円	0.2%	50.0%
合計	185億1,800.0万円	100%	△2.7%

区分	予算額	構成比	前年度比
市税	84億 400.0万円	45.4%	11.3%
地方交付税	28億2,000.0万円	15.2%	△13.8%
諸収入	16億8,420.9万円	9.1%	△19.8%
国庫支出金	9億3,641.9万円	5.1%	22.9%
市債	8億5,880.0万円	4.6%	△22.7%
県支出金	6億6,426.4万円	3.6%	19.9%
地方消費税交付金	5億9,000.0万円	3.2%	△7.8%
繰入金	5億8,150.0万円	3.1%	4.9%
使用料及び手数料	4億9,113.6万円	2.7%	2.4%
その他	14億8,767.2万円	8.0%	6.3%
合計	185億1,800.0万円	100%	△2.7%

※その他には、分担金および負担金などが含まれています

◆市民1世帯当たりで使われるお金

合計 944,892円 (参考：市税1世帯当たり 428,819円)

<p>民生費</p> <p>251,454円</p>	<p>公債費</p> <p>144,128円</p>	<p>商工費</p> <p>128,254円</p>	<p>総務費</p> <p>101,065円</p>	<p>土木費</p> <p>95,566円</p>	<p>教育費</p> <p>87,165円</p>
<p>衛生費</p> <p>80,934円</p>	<p>消防費</p> <p>23,701円</p>	<p>議会費</p> <p>9,725円</p>	<p>農林水産業費</p> <p>8,732円</p>	<p>労働費</p> <p>7,389円</p>	<p>その他</p> <p>6,781円</p>

= 平成19年2月1日現在の世帯数 19,598世帯で計算 =

平成19年度予算 主な事務事業（重点施策別）

●印は新規事業 ▷印は継続事業 （ ）は重複を示す

（※1万円未満は四捨五入してあります）

1. 平成18年7月豪雨災害の復旧、復興対策の実施 ～市民の生命、財産を守る災害に強いまちづくり～

- 災害復旧事業 1億9,328万円
平成18年度からの継続事業である大洞沢川をはじめとする河川災害復旧事業や道路災害復旧事業、県事業への対応と促進を図る砂防・治山対策事業、天竜川災害復旧対策事業に取り組みます。
- 広葉樹林造成事業 201万円
災害に強い森林整備を推進するため、広葉樹林造成に係る経費を補助します。
- (仮称)平成18年7月豪雨災害1周年追悼式 29万円
- 災害記録写真展示事業 <ゼロ予算>
- 災害記録作成事業 25万円



2. 安全安心に係る市民生活に密着した施策の推進 ～だれもが安全に、安心して暮らせるまちづくり～

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●行政チャンネル構築事業 881万円
新たな広報手段として行政チャンネルを構築し、行政情報、災害情報など市民生活に直結した情報提供を行います。 ●雨量計設置事業 267万円
よりの確に降雨状況を把握し、災害対策に活用できるよう雨量計を市内6箇所に設置します。 ●防災行政無線（移動系）配備事業 225万円 ▷防災ラジオ配布事業 7,672万円
災害時に防災情報や緊急を要する行政情報等を迅速かつ的確に伝達するとともに、防災行政無線が聞き取りにくい状況を解消するため、防災行政無線が家庭で受信できる「防災ラジオ」を有償で配布します。 | <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織連絡協議会設置事業 17万円 ▷防災資機材備蓄事業 264万円 ●救急高度化推進事業 35万円 ▷大規模地震災害対策用活動資機材整備事業 45万円 ●消防団員夜間災害活動資機材整備事業 64万円 ●中学生以下の長野県民交通災害共済会費公費負担事業 80万円 ▷市営住宅整備事業 2,450万円 ▷交通安全施設整備事業 1,000万円 ●南部中学校北校舎耐震改築事業 1億2,282万円 ●学校施設耐震診断事業 429万円 ▷神明保育園大規模修繕事業 693万円 ●教員住宅火災警報器設置事業 78万円 ▷自動体外式除細動器（AED）導入事業（小学校） 133万円 |
|--|---|



3. 子育て支援の充実 ～未来を託す子どもたちが健やかに育つまちづくり～

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▷小学校低学年用プール建設事業 5,400万円
平成19年度に田中小学校と上の原小学校に建設し、全小学校への整備を完了します。 ●(南部中学校北校舎耐震改築事業) 1億2,282万円 ●教育用コンピュータ整備事業（中学校） 2,911万円 ●特別支援学級新設事業（西部中・小井川小・上の原小） 269万円 ▷にこにこ子育て支援事業（拡大） 695万円 ▷（神明保育園大規模修繕事業） 693万円 | <ul style="list-style-type: none"> ▷保育補助員設置事業（拡大） 285万円 ●保育園駐車場整備事業 41万円 ●病児・病後児保育事業 740万円
児童が病気や病気回復期にあり、保育園等での保育が困難な場合に、その児童を短期間預かる病児・病後児保育事業を、民間の医療機関の協力を得て実施します。 |
|--|--|



キッズケアルーム・のあ P34,35参照

- 子育て支援マップ作成事業 30万円
市が実施しているさまざまな子育て支援事業を適齢期別等にまとめたマップを作成します。
- 図書館1階多目的トイレ改修事業 75万円

4. 工業振興施策のさらなる推進 ～スマートデバイスの世界的供給基地をめざしたまちづくり～

- 岡谷市商工業振興補助金 7,900万円
- 湯殿山工場用地分譲事業(土地開発公社補助金) 6,065万円
- 岡谷市工業活性化計画見直し事業 <ゼロ予算>
- 工業適地調査事業 <ゼロ予算>
企業への用地情報を速やかに提供するため、適地調査を実施し、企業の移転・誘致と市内企業の流出防止に努めます。
- 岡谷市・山梨大学包括協定「ナノ加工融合プロジェクト」 2,050万円
- ものづくり体験隊事業 5万円
次代を担う子どもたちが、ものづくりへの関心を高め、将来の製造業を担う人材育成につながるよう、市内製造業者、岡谷工業高校との協働により、工場見学やものづくり教室を行います。
- 小中学校における「ユーザー視点のものづくり教育」推進事業 144万円
民間企業の支援プログラムを活用し、使う人の立場に立ったものづくり教育を実施します。



5. 市民総参加のまちづくりの推進 ～市民と行政が一体となった創意と工夫、努力によるまちづくり～

- ともに創る明日の岡谷 学んで提案講座 5万円
予算編成における市民総参加を具体的に実現するため、市民のみなさんに岡谷市のまちづくりや財政状況を学んでいただき、新規事業の企画、提案を行っていただく講座を開催します。
- 市民参加型市場公募債事業 115万円
岡谷市独自で債券を発行し、市民のみなさんに債券を
- 購入していただくことで、市民の行政への参加意識高揚を図り、市民総参加のまちづくりを推進します。
- (行政チャンネル構築事業) 881万円
- (病児・病後児保育事業) 740万円
- (広葉樹林造成事業) 201万円
- (ものづくり体験隊事業) 5万円
- 住まい・街並形成マニュアル策定事業 13万円
- 土砂浚渫作業用具貸与事業 80万円
- ▷市営岡谷球場法面整備事業 <ゼロ予算>



《その他の主な事業》

- (仮称)第4次岡谷市総合計画策定事業 410万円
- ▷岡谷駅前再整備コーディネート事業 670万円
- 岡谷駅前交番用地取得事業 9万円
- 障害者施設整備事業補助金 250万円
- 岡谷市福祉作業所施設整備事業 1,525万円
- 地域介護・福祉空間整備事業 8,000万円
- ▷湖北火葬場建替え整備事業 986万円
- ▷湖周地区ごみ処理施設整備事業 <財源留保>
- ▷湖北衛生センター修繕負担金 753万円
- 中小小売等店舗活性化事業補助金(再構築) 1,211万円
- 岡谷TMO商業活性化事業負担金(再構築) 1,049万円
- ファイト岡谷フェスティバル負担金 150万円
- 文化会館大規模改修事業 6,000万円
- ▷岡谷駅南土地区画整理事業 4,984万円
- ▷湖畔若宮土地区画整理事業 888万円
- ▷第4次道路整備5ヵ年計画事業 2億2,740万円
- ▷都市計画道路 東町線整備事業 1億1,876万円
- ▷都市計画道路 東堀線整備事業 9,471万円
- 高齢者向け優良賃貸住宅整備事業補助金 3,000万円
- 生涯学習活動センターサイン工事 23万円
- 蚕糸資料保管・活用事業 70万円
- 岡谷市・山梨大学包括協定「市民健康づくり事業」 1,169万円
- 「岡谷市健康増進計画」中間評価・見直し事業 36万円
- 市民健康づくり 元気ナビゲーター事業 171万円
- 市民健康づくり 健康教室事業 141万円
- ▷岡谷市・山梨大学包括協定「水資源有効活用研究事業」 900万円
- オーダリングシステム導入事業 3億3,000万円